

季節のことば

三日坊主の「三」とは、昔から最も短い期間を示すのに使われてきた。一日や二日でなくて三日というところが面白い。明智光秀が秀吉に仇を討たれるまで12日間はあったのに、やっぱり「三日天下」と呼ばれている。これに対して「七」という数字は「七変化」、「七つ道具」な

ど多数、多様性を表す。「七福神」もその例だ。恵比寿、大黒、毘沙門、弁天、布袋、え〜と後は何でしたっけ？
「七草がゆ」というものもある。これは短歌式に簡単に覚えられ。「セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、スズシロ、春の七草」

三笠産業株式会社

三笠ニュース

●あなたと三笠をむすぶホット情報●

PR句報/年4回発行
発行所 三笠産業株式会社
郵便番号101 東京都千代田区猿樂町1-4-3
電話03(3292)1411大代表 ファックス03(3233)0630

年のはじめに 代表取締役社長 京谷 達也



新年明けましておめでとうございます。皆々さま新しい年に寄せて大きな希望と夢をお持ちで御同慶の至りであります。

心の緊張とでも言いますか初春の松の緑に清々しさを感じ、仕事の上でも家庭生活でも新しい心意気で一年を出発することは誠に喜ばしいこととございます。

とかく心の緊張というのは忘れがちなものですから新年正月のしきたりは実に機微に触れた素晴らしいものと考えて良いでしょう。私など年に一度の正月といわず月に一、二度は心の正月を意識したく努めているつもりです。趣味の部分でも、多くは衛星放送で送られた映像に頼ってはいますが、名歌劇場のオペラに接する時、歌唱は勿論ですが、古い伝統に新しい精神を吹き込もうと懸命な指揮者、オーケストラ、それに時代と共に舞台装置、照明、衣裳を含めた新演出への期待に胸をときめかす時、心地好

い緊張が明日の実務の励みになるのを実感します。人それぞれ方法手段は異なっても心の新鮮更新は願いたいものです。

三笠産業は皆々様の格別なご愛顧により世界の水準をゆくメーカーとして好評を高めております。また、本年は世界最大の建設機械見本市「バーマ展」開催年であり、当社は'86年参加初出品いらい回を重ねるごとに自信を深めまして今春も堂々ドイツ・ミュンヘン入り致します。これもひとえに三笠ご愛顧の皆様そして社員各位のおかげと深く感謝している次第でございます。

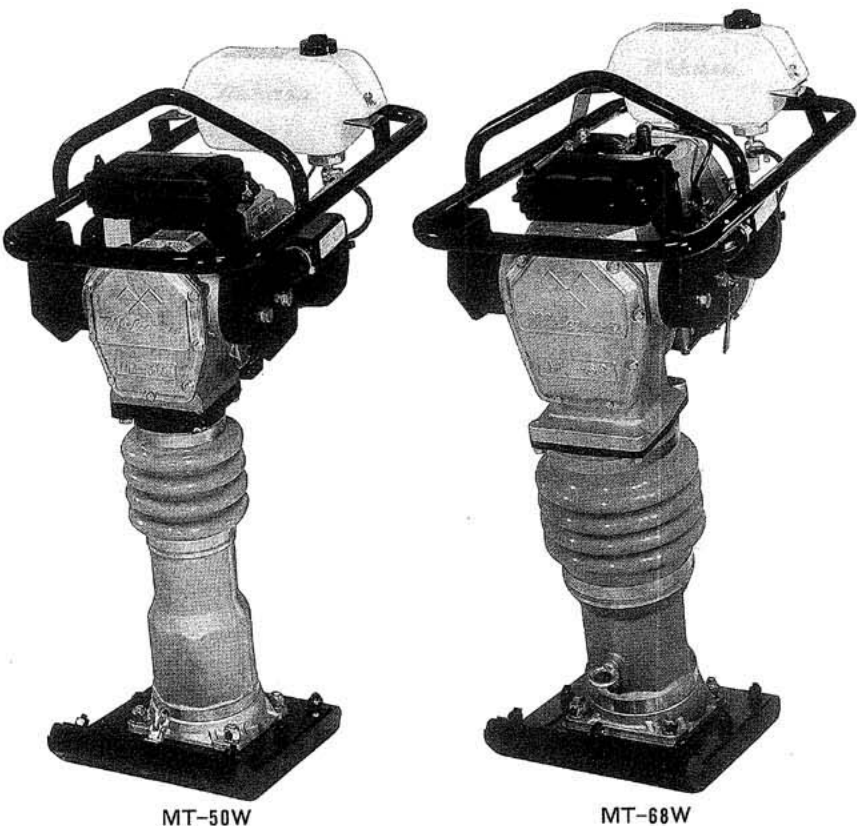
社会情勢や景気はともあれ、目まぐるしいばかりの技術革新にどう対応して行くか、ここに真剣な視点をそそいで三笠産業のさらなる発展を期待してやみません。本年もまた皆々様にとって良い年でありますよう祈念し、年頭のご挨拶と致します。



Wクリーナー搭載ランマー MT-50W/MT-68W新2機種を同時発表!

1990年8月よりハイジャンプ型ランマーとして国内外にその仕事ぶりの良さを評価され、好評を博して4年半の歴史を持つMT-70Vランマーに対し、

更に長寿命を計るべくユーザーのニーズと技術陣の意見が一致し、海外向けとしては1993年12月より、また国内向けとしては昨年5月の東西代理店会に



MT-50W

MT-68W

MT-70W型として発表し、その後三笠ニュース7月号にその詳細が発表されました。

各種実験とMT-70Wのご好評に裏付けされ、また度重なる耐久テストをクリアして、この度MT-50W型およびMT-68W型のダブルクリーナー（大型クリーナー搭載）タンピングランマーを完成、2機種同時発表の運びとなりました。

MT-50W型ランマーは、軽量ハイジャンプランマーを是非にというお客様方からの強い要望により開発され、平成の年号と共に歩みだしたMT-50型ランマーが基本型です。操作し易さと、その軽量さにも拘わらず強力な輾圧力により短年月の間に2万数千台に上るご愛顧を頂いている安定した品質の本体をベースとしております。

一方MT-68W型ランマーは、1987年以来生産され続け、これを母体として既にMT-68SGK、MT-68SSが生産されております。この様に安定した機体だからこそ、お客様に長く愛用され、そして千変万化し得るのであります。今回のWクリーナー搭載仕様MT-68Wが誕生した所以でもあります。

昨年の三笠ニュースに重複しますが

W型の長所について次に記します。

- ①高性能：一次側大型エアクリーナーを経て従来の二次側エアクリーナーに吸入され高度に浄化された混合気を供給するのでエンジンの性能を高め寿命を延ばす。
- ②整備性：特殊工具を使用せず大型エアクリーナーエレメントを取り外すことが出来、通常はこのエレメントの手入れだけでよい。
- ③経済性：大型エアクリーナーのエレメントは洗滌する事で繰り返し使用が可能。

バーマ'95が4月開幕 三笠産業も常連出展

ことしはバーマ開催年。三年に一度、ドイツのミュンヘンで開かれる世界最大の国際建設見本市「バーマ展」が来る4月3日開催します。われら三笠は'86年いらいの連続単独参加、世界の注目を浴びています。





清水 義正 (しみずよしまさ)
昭和22年1月18日生まれ
海外営業部輸出二課

- ①一口で言って可愛い、愛嬌がある。
- ②私は東京の下町両国の育ちです。両国橋のたもとにシシ鍋専門の料理店があります。私がまだ小学生の頃だったと思いますが、この店の外に料理されるのを待つ猪が2〜3頭と、すでにさばかれて剥いだ皮がいくつかぶら下がっていました。ある時、父親が酒に酔った勢いでこの皮を頭からすっぽりかぶって帰ってきました。当然の事ながら母親と大げんかとなり戻しに行った記憶があります。
- ③がむしゃらに無謀に突進する猪のイメージが時たま自分自身にオーバーラップします。
- ④無いと思いたいのですが、私の場合はあるようです。
- ⑤良いとか悪いとかは感じません。
- ⑥この年になり体力の衰えを痛切に感じます。これをカバーすべく身体作りに励みたいと思います。



塩野谷 晃伸 (しおのやあきのぶ)
昭和22年5月27日生まれ
第一技術部

- ①猪突猛進の感が強すぎるのであまりよいイメージはありません。
- ②伊豆のイノシシ村でイノシシのショ

三笠のどしアンケート

明けましてお目出とうございます。ことしは乙亥(きのとい)。その年男年女の皆様から協力を頂いた三笠ファミリートピックス新春特集です。

質問

- ①イノシシにどんなイメージを持っていますか
- ②イノシシにまつわる思い出はありますか
- ③自分の性格にイノシシ年生まれを感じることがありますか
- ④エトが人の性格に影響すると思いますか
- ⑤自分のエトがイノシシで良かったと思いますか、あるいは他のエトが良かったですか
- ⑥年男年女としての抱負をお願いします

一を見たことがある。旅行先の土産物店で石で出来たエトのお守りを買ったことがある。

- ③感じたことはありません。
- ④中にはエトの性格を表わす人もいますが、私自身影響するとは思いません。
- ⑤イメージ的にあまり良くないが自然の中で逞しく育つ点に関しては良かったと思います。
- ⑥趣味として始め、一時中断している帆船模型を今年中に完成させたい。



東山 賢司 (ひがしやまけんじ)
昭和22年8月15日生まれ
第一営業部札幌課

- ①猪突猛進
- ②イノシシの肉の缶詰を食べたことが

あります。これは「イケル！」と言う程ではなかったように思います。

- ③平素日常生活に於いて干支を意識したことはありませんが性格的に「突っ走る」傾向があり、良く言えば「前進あるのみ」をモットーとしております。
- ④全く思いません。干支とは古代中国にて方角や時刻、年月日を表すのに使ったとの事。全ての方が十二支それぞれの動物に共通性があるとは思えません。多忙な現代社会に生きているせいか余りにも夢が無さ過ぎるのでしょうか。
- ⑤どのエトでもかまいません。エトを自分で決められたら各々個性が出て良いのではないのでしょうか。私なら差詰めフクロウ年とか。(朝は弱いが

夜は強い)

- ⑥知力、体力、精神力どれ一つでも欠けると事がうまく行きませんので昔とった杵柄でテニスでも始めようかと思っています。



須田 功 (すだいきお)
昭和22年8月21日生まれ
第二営業部新潟課

- ①むやみに突進するブタの原種。イノシシは夜行性であるが私はいたって夜は弱い。
- ②23〜4年位前仲間と秩父に行った時シシ鍋を食べる事になったがイノシシ年生まれだからと言う訳ではないがこの鍋には一切手を付けず漬け物だけで食事をした記憶がある。今日までイノシシの肉は食べたことがない。
- ③特別感じたことはない。
- ④思ったことはない。
- ⑤特に思った事はないが今日まで大過無く来れたのは自分自身この年に生まれて良かったのではないかと考えている。
- ⑥平成7年。7はラッキーナンバーと言われるので公私共にラッキーな年になると信じ、趣味の海釣りでは大物を狙いたい。



高橋 正紀 (たかはしまさのり)
昭和34年3月26日生まれ
第一営業部北関東一課

ベトナム再訪・最新レポート

ベトナムの町 ●●●●●

ベトナムと言えば、東南アジア、南の国、当然熱帯の気候を想像し、小職も半袖の着用である。しかし、回りを見れば、半袖族は少数グループであった。ベトナムと言えども10月は秋である。雨期で天候が悪かったせいもあるが気温は15度から18度と半袖の身には応える気候であった。確かに、どの店を見ても陳列されている衣料品は、冬物が中心であった。

1年振りに訪れた今回は、南から、ホーチミン(旧サイゴン)、ダナン、ハノイ、ハイフンの4都市を大阪のT社、F氏と駐在員のHさんに同行して頂いた。

ホーチミン市の秋葉原 ●●●●●

2年前、この町に初めて来て驚かされたのは、秋葉原には規模は及ばないものの、ちょっとした電気街があり、陳列されている商品はラジカセではなく、ステレオ等の高級オーディオ商品であったことだ。平均月収30ドル(3千円)程度のベトナムで、高額商品が何故売れるのかが不思議であった。これが良く言われるタンス貯金による購買力かと、後で納得した次第である。しかしこの反面、町中では10歳以下の子供達が、外国人と見ると物乞いに列をなし、しかも彼等には縄張りがあるようで、町のあるブロックを過ぎると諦めて帰ってしまうが、今度は別のグループにねだられるといった具合であった。国の規制かどうかは不明だが、

こうした風景は今回は見られなくなった。少なくとも表向きには。電気製品に限らずものが豊富になり、更に活気溢れる町になった。



ダナンのラーメン ●●●●●

中心街は歩いて廻る程度の小さな町であるが、ベトナム中部の中心都市である。ベトナムも5日目になるとベトナム料理(蛙料理が多い)にも飽き、同行のお二方とも意見が一致し、この日の晩餐は屋台のラーメンと決まった。ホテルより3分程の屋台のテーブルに着き、まずは目的の物を注文する。バンコク以来のラーメンで、このダナンのラーメンもなかなかの味である。具は豚、鳥、魚と色々選べるが、何ととってもスープと麺が旨い。この旨さに2杯目を食べていると、いつの間にか廻りに子供達が遊んでいる。そして、席を立った瞬間である。その子供達が我先にと、その残飯(残麺)を口にしているのである。これを見て、2年前のホーチミン市中の物乞いの少年達が思い出された。

ハイフォンへの道 ●●●●●

ベトナムの道路は悪いとの評判を良



〔写真上〕オートバイが溢れるホーチミン市内

〔写真左〕ハノイ市内の電話線埋設工事で活躍するMTR-80HR型ランマー

く聞くがこれまで走った、限られた距離においては、特に傷んでいる箇所はお目に掛かっていない。ジャカルタ市内の裏道より数段良好である。ハノイ〜ハイフォン間は約100kmである。時速100km/hでとばせば1時間の距離である。しかしながら同行のお二方によれば、片道3時間はかかるとの説明である。いざこの道をドライブしてみると、行けども行けども人の波、いや、自転車の列が途切れないのである。片側一車線で、これではスピードも40〜50km/hの平均速度が限度である。要するに道が悪いのではなく、単に狭いだけの話である。時間のかかるもう一つの原因は橋にあった。いつの間にか1km以上の渋滞で、各ドライバーとも車を降りて休憩である。その理由はこの橋が片側一車線の交互通行である上に、列車までも合間に同じ橋を渡るシステムになっているからだ。従って運の悪いときは、この橋を通過するのに30分以上かかることもあるそうである。

ハノイ女性のファッション ●●●●●

ベトナム女性のファッションと言えば「アオザイ」である。これは民族衣装で公式行事の際の正装となるのだがシースルーのブラウスとスラックスは何ともセクシーである。町中に見る現在の主流は、今でもスカートではなくスラックスである。2年前に訪れた時には、ホーチミン市内で見かけたスカート姿も、ハノイでは先ずお目に掛かれなかった。同行のHさんによれば、留学時にスカートを着用して白い目で見られた経験をお持ちだそうである。それからすると最近では数は少ないものの、ちらほら見かけるようになってくる。しかし、今回一番印象深かった事は、町中に化粧品店が出現し、しかもそこで熱心に化粧指導を受けている女性達がいたことである。初めて来た時には、社会主義国の雰囲気が強かったこの町も、彼女たちを見る限り、社会主義による統制など微塵も感じられない開かれた町に変身していた。

輸出二課 加瀬記

- ①エトで言えばオーラス。食べ物で言えばたん鍋。花札で言えば猪鹿蝶の猪(青タン)。お酒で言えば徳利にお猪口。当たり前で言えば猪突猛進。こんなところでしょうか。
- ②昔、小学生の頃、栃木の山奥の旅館で食べたたん鍋が大変うまかった思い出があります。その時はイノシシの肉とは思わずに食べていた。
- ③性格ではありませんがイノシシの習性として常に上下の牙をかみ合わせて刃物の様に磨いていると言われていますが、自分も歯ぎしりをするのでそのあたりが似ているかもしれません。また最近体格が似てきたように思います。
- ④必ずしもそうとは思いませんが「名は体を表す」と言われるように性格や行動もエトが少なからず影響していると思います。(勝ち気や短気な面、特に女性に)
- ⑤特にどのエトが良いとは思えないが現在の体格からしてイノシシで良かったのかもしれない。(しかし大嫌いなヘビやイメージの合わないウサギでなくて良かったです。)
- ⑥営業という職種に携わっているので売り上げ目標を達成すること！(営業の鏡！) そうすれば寝汗をかかずに安眠出来ると思います。また馬を見るのが好きなので(特に競走する方) 今年乗馬をやりたいと思っています。



藤岡 貴志 (ふじおかたかし)
昭和34年4月17日生まれ
海外営業部輸出一課

- ①突進する⇒一途⇒自分とは全然違う。デフォルメされた絵を見ると花札の図柄を思い浮かべてしまう。
- ②幼稚園のお遊戯会でイノシシのお面をかぶられ、何故か悲しかった。
- ③性格ではないが、鼻の穴が大きいところをイノシシ年生まれの子にしている。
- ④血液型と同様根拠はないものの、心理的な影響(例えば動機の正当化etc)はあるかもしれない。
- ⑤うさぎ年よりましだと思えるときもある。
- ⑥12年の時間に慄然とする。後回しにしてきたことの大きさに愕然とする。残された時間は少ないと言うことを肝に銘じたい。



大沢 洋二 (おおさわようじ)
昭和34年12月18日生まれ
第一営業部高崎課

- ①ブタ=イノシシと言うことが頭に浮かび、動物園に行っても「くさい」「きたない」といったところ。
- ②イノシシで思うのが、子供のイノシシの背中にある斑が親に似ずとても可愛いと思うこと。
- ③特になし。
- ④ネズミ=こまめに動く、ウシ=わりと感じない、トラ=怒りっぽい、ウ

サギ=おとなしい、タツ=昇り龍、ヘビ=にらむとこわい、ウマ=馬車馬、ヒツジ=賑やか、サル=感情的、トリ=忘れっぽい、イヌ=空元気、イノシシ=猪突猛進

- ⑤特になし。
⑥2泊3日の温泉旅行。



石丸 賢介 (いしまるけんすけ)
昭和46年2月28日生まれ
第二営業部長野課

- ①おいしそう、一度シシ鍋を食べてみたい。
- ②特になし。
- ③ありません。
- ④自分がイノシシ年だということあまり意識していないのでわかりません。
- ⑤もうちょっとかわいい動物の方がよかった。
- ⑥長野県にはいろいろと観光名所があるのでいろんなところへ行きたい。



小谷中里美 (こやなかさとみ)
昭和46年4月7日生まれ
第三営業部西販課

- ①イノシシにあまり親しみが無いのでイメージがわかりませんが、ブタの原種で、臭い、危険と言うイメージと憎めないところがあるという感じがする。
- ②ありません。
- ③イノシシは夜活動する動物みたいなので、夜は遅くまで起きていられる

方だと思うところ。(夜型)

- ④特に思いません。
- ⑤イノシシで良かったと思います。他のエトだとすればイヌ。犬は大好きで、何時も身近に感じられるところ。
- ⑥具体的には考えていませんが何か新しいことに挑戦したいと思っています。



原島 芳法 (はらしまよしひこ)
昭和46年6月5日生まれ
第二技術部

- ①後ろを振り返らず前進して行く。
- ②特にありません。
- ③感じません。
- ④思いません。
- ⑤エトが何であっても自分には変化が無いと思うので何でも良い。
- ⑥良く遊び、良く学ぶ。特に自分の好きなバイクのツーリングをしたい。



高松 清勝 (たかまつきよかつ)
昭和46年7月23日生まれ
第二営業部新潟課

- ①シシ鍋。
- ②特別にない。
- ③生まれてから今まで一度もそんなことは考えたこと無かった。
- ④思った事はない。
- ⑤特に理由はないのだがイノシシで良いと思う。
- ⑥最近ゴルフを始めたばかりなので、練習してうまくなり、今年中にはコースにでたいと思う。



講談界の異色タレント 女優からヘンシーン 神田 紅 (福岡県出身)

東京三笠レンタル会総会のあと宴会アトラクションに招かれて登場し、天下の機械屋さんツワモノ一同をア然とさせた神田紅という女流講師。ただの芸人とは一味違うキャラクター神田紅さんを取材。本誌新年号に登場していただきます。

昭和54年の春、講談界の長老・神田山陽の門を叩いて弟子入りを志願した。知的でチャーミングな美人だから山陽は顔をくしゃくしゃにして喜び入門を許可、紅(くれない)と命名。

「拭き掃除からお茶汲み洗濯、師匠の着物の始末そしてカバン持ち……その僅かな合間をみて芸を教えられる。私の『非人間時代』です。

神田紅は「あの頃」をふりかえり懐かしそうに？身震いしてみせる。前座修行の泣き笑いを繰り返すうちに二ツ目昇進、やがて異才を発揮するように

なった。古臭い講談界には通用しない奇妙な話を持ち出しても師匠山陽はニヤリ笑って叱ろうとしない。モトを正せば神田山陽ご本人からして大学出(日大)で出版社経営から講談師に転向という変わり種だからだろう。

平成元年に真打ち昇進。その披露興行は上野本牧亭が舞台だった。演しものは『ヘンゼルとグレーテル』だから洋装にハイヒール。しかも講釈しながらタップダンスを踊ったりしたから各派長老たちの中から文句が出た。

「いやまあ、たまげたなあ」
「神聖な高座にハイヒールで上がるてえのは、どうもいけねえ…」等々。

しかし山陽師匠はこうしたクレームも自分の胸にしまって紅本人には黙っていた。「ずっと後になってそれを聞いて頭が下がりましたわ」とは神田紅の感激のことばである。

この披露興行は取り壊される上野本牧亭最後の真打ち披露だったために週刊誌が大きく話題にとり上げた。声のメリハリ調子が抜群の神田紅。古典ものは当然しっかりこなし新作にも意欲満々の挑戦、さらには自作をみごとにやってのけるマルチ講師として今や一流の域にある彼女である。

高校は九州福岡市の旧藩校で名高い名門に通った。受験シーズンになり親の意向で医大を受けたが不合格。おまけに大失恋。泣く泣く浪人生活に入っただけで勉強していたある日、ふとラジオの声に耳が吸い寄せられた。

「人生って一度しか体験出来ないでしょ。だけど役者俳優には幾つもの人生体験が許される訳なのよ……」メケメケの丸山明宏のおしゃべり声だった。

それは天の声のように、神様の啓示のように彼女の全身をビリビリとかけめぐり、パッと医大受験を放棄して演劇が出来た大学選びをはじめた。結果



は早稲田大学。親の反対を押しきっての受験は首尾よく商学部合格だった。ただちに演劇研究会に入って一年間を過ごしたがどうもピンと来ない。もっと本格的な演劇の中に飛び込みたくて文学座演劇研究所を受けてみる。入所が許可されるとただちに早稲田は休学、そして自然中退。

「あわよくば卒業とともに文学座へ入座……と夢みていたけど、世の中そんなに甘くありませんね。同期生にはいま大活躍の中村雅俊さんがいたのよ」

仕方なく芸能プロダクションに席をおく。とはいってもすぐに仕事があるわけではない。大女優市原悦子の付き人になって丸二年間。

「これはすごい勉強になりました。本当の天才ですね市原さんは。その偉大な天才ぶりを間近に見てしまったために私は自信を失って……。付き人をやめてからまだ演劇界には未練があって下積みの女優生活を三年ほどやりましたが……」ここで神田山陽の門を叩くことになる。「講談を聞いたことがあるかい?」「ありません」「ではちょっと聞いてなさいよ。『さても源左衛門その日のいで立ち如何と見てあれば』……さあやってごらん」

いきなり真似をしてみなさいと云われて面くらった。それは名作講談「鉢の木」の「いざ鎌倉」の一節だった。

「私あのとき師匠の語り口がジャズのリズムのように聞こえた。私風ジャズだなと思った。音楽とくにジャズは好きだったからこれは面白い……と」

そのいっぽう古典ものを教えるときは実にきびしい。

昨秋11月号の岩波書店「図書」に神田山陽(85歳)はこう書いている。

「不思議と私には門弟がふえるが、同時に脱落するものも多く、折角教えたことが無駄に終わったことも多い。だが私がいま誇りとし、嬉しいことは講談指導の方法が上達したことだ。嘘だと思ふ人あれば現在の私の門弟とくに女性門弟に聞いてもらえば判る……」

映画、新劇と女優から変身した才女神田紅はこの女性門弟のトップとして油ののりきった美声で講談の復興に情熱を傾けている「闘士」である。

㈱カナモト大阪営業所 開所式盛大に挙行

北海道地区に於ける三笠の有力代理店であります㈱カナモト(本社 室蘭市港南町1丁目6番11号 金本太中社長)さんには去る10月13日、生駒山を望む大阪外環道路近く、東大阪市に大阪営業所を開所されました。

同社は北海道を中心に建設機械のレンタル及び鋼材の販売、半導体の販売を主たる業務とされ近年、東北、関東地区にも続々と進出され、この度西日本地区の拠点としてはじめて大阪に同



佐藤所長と新社屋

社66番目の事業所を開設されたものがあります。

当営業所は敷地面積3,200㎡に鉄骨2階建て事務所(311㎡)、更に機能的な設備を擁した鉄骨2階建て倉庫(延べ面積2,000㎡)があり、立地条件に恵まれた近代的な立派な社屋であります。

当日開所式には倉庫内に三笠製品のマイコンバイブレーターを始め、ランマー、プレートコンパクター、カッター等々のリース機が整理され、多数の関係者の出席を得て厳粛な内に神事が執り行われました。我が社より小野社長、三笠産業㈱より京谷社長が出席させて頂きました。

場所をかえてホテル阪神にて落成披露宴が盛大に行われ、席上金本社長より地域の和を尊重し、業界の共存共栄

を計り、またリース価格破壊を行わない事をモットーとしている旨のご挨拶がありました。

佐藤所長始め大阪営業所の皆様のご今後の活躍を期待すると共に、㈱カナモト様の今後益々のご発展を心からお祈り申し上げます。

三笠建設機械㈱ 安尾記

大成産業株式会社 新社屋落成記念展示会

この度、大成産業株式会社様(青森県五所川原市大字浅井字色吉207-1 社長 長谷川武哉氏)では、社業の一層の発展を図るため社屋を上記の場所に新築移転され、落成記念として、9月30日、10月1日の両日新社屋落成記念展示会を盛大に開催されました。



長谷川社長様には、東北三笠レンタル会の理事をお引受け頂いており、日頃三笠製品の普及拡販にご尽力いただいております。また10月1日

長谷川社長

の展示会終了後にはユーザー様をはじめ主力メーカー、商社を招き落成記念パーティーが開かれました。当社も展示会には、マイコンバイブレーターを始め振動ローラーに至るまで多数展示させて頂き、マイコンバイブレーターのみならず多数バラエティーに富んだご注文を頂き盛況の内に展示会ならびに落成パーティーが終了いたしました。

リース部門のさらなる飛躍を目的とされた新社屋は約1,600坪の敷地に約80坪の事務所と約140坪の倉庫からなり、事務所内は明るく近代的であり、将来の事業拡大にも対応できる機能を擁する立派な建物です。倉庫と敷地には三

笠製品を始め特殊機械に至るまで豊富な在庫を揃え、総合レンタル業としても青森県津軽地域に於いて確固たる地位を占めておられます。

新社屋落成を機により一層のご発展と長谷川社長を始め役員、社員の皆様のご益々のご活躍を心からお祈り申し上げます。

仙台営業所 八木記

大正建機株式会社 八王子支店新築落成



東京都内及び大阪、静岡地区で、レンタル、販売に活躍されておられます、大正建機㈱(本社 東京都大田区多摩川2-15-4 西野泰弘社長)さんにおかれましては、かねてより計画されておりました八王子支店がこの程完成され、これを記念して去る10月19日(水)に、同支店内に於きまして披露パーティーを催されました。

八王子地域でも立地条件の良い市内小宮町665番地に600坪の敷地を用意され、事務所、倉庫、機械工場が整然と並び、お客様の車も出入りしやすいので、売上げ、サービスの向上に役立つものと存じます。

パーティーの席上で西野社長のご挨拶とともに田中武男支店長、長南清所長を始めとする八王子支店の新スタッフが紹介され、地域ユーザーとの密着した取引を展開し、市場拡大を行う旨の営業方針が語られ、またこれを行う士気の高さを感じさせられた次第であります。

今後、レンタルにそして販売に、三笠製品の活躍の場を拡げていただけることを確信し、更なるご繁栄を心よりお祈りいたします。

東京一課 神田記

宇建機工㈱創立25周年 賑やかに記念建機展

わが社の栃木県の代理店であります宇建機工㈱様(本社 河内郡河内町白沢1825-2 社長 森田藤伸氏)に於かれましては、昨年の10月22日(土)23日(日)の二日間にわたり創立25周年記念大感謝祭建機展と題しまして展示即売会を盛大に開催されました。

前日の設営は雨が降る中に行われ、当日の天気が大変心配されましたが、何とか雨も上がり早朝からも多数のお客様が入場されました。場内には約50社のメーカーの建設機械が展示され、各メーカー共お客様に対しご注文を頂く様積極的にデモや売り込みを繰り返し行い、場内は熱気と活気で大競演となりました。特設ステージに於いては二



日間共歌謡ショーが行われ、お客様の座る椅子が足りなくなるほど大盛況で社員の方々も対応に大忙しの様でした。この不況下と言われる中でご注文を各メーカーコーナーで大量に頂き、ご成約札が次々と貼られ、太鼓による威勢の良い手締めが何回も場内に響きわたり、改めて宇建機工さんの営業力を感じさせられた次第です。

三笠製品もランマー、プレートやコンクリートカッター、高周波バイブレーター等々多数のご成約を頂き大変盛況な展示会でありました。

これもひとえに森田社長を始め社員の皆様の日頃のご協力とご努力の賜と感謝申し上げますと共に、宇建機工様の益々のご発展をお祈り申し上げます。

北関東一課 高橋記



検査資格取得の研修開催 東北三笠レンタル会

ローラー等の事業内検査用の資格取得研修会が、社団法人建設荷役車両安全技術協会宮城支部の主催で10月27日、28日の両日に開催されました。

これは、東北三笠レンタル会の平成6年度事業計画の中で会員の皆様から強く要望が出たもので、会員16社21名一般参加1社1名の計22名が真剣に受講して好評でした。

仙台営業所 松沢記

三笠クイズ VOL.16

【問題】 タテとヨコのかぎを解いて1~5の文字をつなげると、冬にちなんだ言葉が浮かんできます。さて何でしょう。

ヒント

ヨコのかぎ

- ア、元日の日の出。
- イ、「つばさ」は〇〇〇〇新幹線。
- ウ、自分の、〇〇道を行く。
- エ、わけ。「〇〇〇なき反抗」はジェームス・ディーンの映画。
- オ、片づける、書類を〇〇〇。
- カ、雨の多い時期、〇〇と乾期。

応募の方法 官製ハガキにクイズの答えと住所、氏名、年齢、職業(会社名)をお書きのうえご応募ください。正解者には、抽選のうえ10名様に記念品を差し上げます。

●あて先 〒101東京都千代田区猿樂町1-4-3

三笠産業株式会社

「三笠ニュース」編集室

●締切り 1995年2月6日(月) 消印有効

VOL.15の答えは「アカトンボ」でした。次の10名様に図書券をお送りしました。

江沢伸子様(千代田区) 小森美生様(能代市) 加藤義昭様(西多摩郡) 菅野達男様(川崎市)
横山恵三子様(上越市) 堀口典子様(大里郡) 安藤健様(君津市) 上遠野保様(岩見沢市)
黒沢正明様(白河市) 生駒みづ子様(恵那市)

ア	4			
A	B	C	D	
	イ	3		
			オ	
ウ				E
	F			カ
5	エ	1		

タテのかぎ

- A、歌舞伎芝居で一人の役者が同一場面ですばやく姿を変え、二役以上を演じること。
- B、あしらいに添えるもの。さしみの〇〇。
- C、南に向かって左の方。
- D、言うの敬語。おっしゃる。
- E、男女関係についてのうわさ。〇〇〇を流す。
- F、正月7日に食べるのは七草〇〇。